

## 5. 第 25 回勉強会「和敬塾本館(旧細川侯爵邸)見学会

5月19日(木)、東京都文京区目白台の和敬塾本館見学勉強会が行われました。

参加者は16名でした。和敬塾本館は、昭和11(1936)年に細川護立公爵本邸として建設され、昭和31(1956)年に育英事業の場としてふさわしい環境であるとして本邸を含む敷地を購入した前川喜作が本邸を和敬塾本館とし、本館は平成10(1998)年、東京都から有形文化財の指定を受けました。

かつてこの地は、商店街の無いお屋敷町で御用聞きが注文をとり配達していたとのこと。そのお屋敷どおり、都の幹線道路目白通りから本館まで約150mの路があり、建物北側に玄関ポーチ、南側に広い庭がある。戦後、オランダ軍がこの建物に手を加えることなく使用してくれたので、9割方はそのままの状態を保っていて、玄関を入ると1階は、玄関の間、大ホール、客間、応接室、書斎、食堂、庭に面して広いベランダがあり、部屋ごとに目を見張る趣向の凝らされた接客空間である。2階は、主に日常生活の場となっていて、1階から続く大階段を上がると2階大ホール、サロン、公爵と親交の深かった高松宮様をもてなしたとされる和室、寄木敷きの床に竹を用いた和風意匠の居間など、壁紙には金が使われているものの金ピカではなく、重厚さと落ち着きのある色調で、絢爛ながらも日常を醸し出す和洋折衷の生活空間となっている。

